

第一回 学校運営協議会

日時：令和3年7月20日（火）15:00～17:00

場所：本校別館2階 ふれあい教室

出席者：大束委員、津田委員、福留委員、松宮委員

事務局：重松校長・橋爪教頭・吉川事務長・安部首席(総務部長)・小林首席・
長谷川先生(教務部長)・田中裕先生(進路指導部長)・和田先生(生徒指導部長)
西村先生(自治会主担)・岩田先生(保健部長)
北郷先生(1年学年主任)・岡田先生(2年学年主任)・上野先生(3年学年主任)
※ 中村先生、森先生、澤田先生は、記録係として参加

内容

- 1 校長挨拶
- 2 委員の紹介、事務局の紹介（佛教大学 大束教授、寝屋川第6中 福留校長先生、校長、各先生）
- 3 会長選出（佛教大学 大束教授）
- 4 学校経営計画について（校長より説明）

中期的目標に対する活動報告

- ・主体的対話的な学びのための観点別評価を各教科で検討しており、2学期には、プレ実施する予定。
- ・授業アンケート結果の提示、夏休み期間に各教員が振り返り、2学期からの授業改善を図る
- ・新型コロナウイルス感染症対策と教育活動について
- ・国際交流の取組状況について

- 5 各分掌・学年から取組状況説明

教務部

- ・令和4年度の教科書の選定（新カリキュラムに向けて）
⇒協議会にて承認
- ・15期生の教育課程について（13期生、14期生の教育課程を参考に）
- ・新カリキュラムに向けた評価方法の検討

生徒指導部

- ・遅刻、欠席の減少に向けた活動（遅刻年間1200件を切る）
- ・自転車事故の減少に向けた運転指導（道路交通法違反をなくす）
- ・内面規律（SNSの扱い、身だしなみ）

生徒自治会

- ・部活加入率63%(1・2年68%)の維持
- ・地域への奉仕活動や交流活動（コロナ禍により減少）

進路指導部

- ・昨年の進路実績
- ・進路計画（実力テスト3回、就職に向けた講習、受験に向けた講習）
- ・大学進学希望の生徒を集めて学習指導を実施

保健部

- ・健康診断
- ・新型コロナウイルス感染症対策（アルコール消毒を各教室の前に、昼食時に密を避ける）
- ・清掃活動（週2回業者によるトイレの清掃）
- ・避難訓練（避難経路の確認）
- ・昨年度の水道水中の塩素濃度の確保については、施設面での改善を図り、事務室にて管理・運用を行い、改善済み
- ・本日、大掃除を実施し、各箇所の監督者による安全点検を実施。

総務部

- ・図書館活動
- ・図書委員活動
- ・リクエスト本について
- ・資料整理
- ・芸術鑑賞
- ・広報、ホームページ（オンライン学校説明会、外部説明会6回、行内説明会2回、電話での中学校訪問、新カリキュラムについて告知、ホームページの更新、PTA連絡網）
- ・式典
- ・同窓会
- ・PTA活動
- ・中高連携活動

1年生

- ・生徒の学校生活について目標を設定（学校の求める生徒像を参考に）
- ・総合的な探究の時間（職業について調べ、模造紙にまとめて発表）
- ・Chrome book の活用（グーグルクラスルームを利用）
- ・生活の指導を厳しく（遅刻指導、置き勉禁止）

2年生

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度は行事が縮小、中止に
- ・体育祭、文化祭は縮小、修学旅行は岐阜県（新型コロナウイルス感染者が出た場合の対応を考えて近畿圏から近い所に）
- ・GTECの実施

3年生

- ・心構えを設定（主体性を持たせる）
- ・修学旅行が中止に
- ・進路指導（受験に対する意識を持った生徒が少しずつ増加）
- ・校内模試を実施（本来外部で受けるもの）
- ・穏やかで優しい生徒が多い

6 協議

- ① 新学習指導要領について、形成的評価にむけた準備についてどの程度進んでいるか。
→授業力向上委員会が主体となり主体的対話的な学びに対する評価方法を検討、プレ実施を予定。
- ② ICT 活用に向けた学校設備の状況について。
→大阪府のモデル 8 校に指定され、生徒用 Chrome book を事前に 42 台配置され、授業で活用中。
プロジェクターを全 HR 教室に設置済み。
今月末には、生徒用 700 数台および教員用端末が配置予定で、今後、ICT を何のために使うのか、生徒の深い学びにどのように繋げるか、その成果を測る指標を探る。
- ③ 進路指導について、入試制度の変化により、指定校推薦という受験方法はどうか。
→受験形態が大きく変化したわけではないが、進学校などにおいて指定校推薦を受ける生徒は増加した。
- ④ 様々な分野の専門学校を受験する生徒への、個別の指導はどのように行っているか。
→コース別ガイダンスを毎年実施。HR や総合的な探究の時間を活用して指導。
- ⑤ 受験生の安定志向は高校生全般にみられる傾向であるが、皐が丘高校の生徒がどのような過程で進路を選んでいるのか。
→勉強は好きじゃないが、定期テストは頑張れる。年間を通した勉強が苦手である。特に一般受験より受験科目が少なくなる受験方法を選ぶ生徒が多い。そういった基準ではなく、行きたい所をみぞすよう呼びかけはおこなっている。
- ⑥ 育児についての学習を行う機会はあるか。
→一昨年までは行っていたが、現在は新型コロナウイルス感染症の影響により親子交流事業は行っていない。
- ⑦ 生徒指導について、SNS のトラブルとはどのようなものか。また、どのように指導しているか。
→外部講師(au)を招いて、新入生対象に講習を行った。人間関係のトラブルがきっかけとなる誹謗中傷などの投稿がおきており、引続き、指導していく。
- ⑧ 部活動の加入率が多いのは、どのような秘訣があるのか。
→中学校時の部活動、興味のある部活動などについてのアンケートをとり、部活の説明会を実施した。
また、個別に部顧問に相談に行ったり、部活ミーティング等により 2, 3 年生と新入生との繋がる機会を設けた。
- ⑨ 大学進学希望の生徒にむけた学習指導と、自習室利用率との関係について。
→図書館を自習スペースとして開放している。
- ⑩ グループワークについて、生徒に主体性を持たせるために教師自身の指導方法に変化を生まなければならぬが、そこに向けた活動はしているか。
→教師 1 人に 1 台のタブレットがない中で、生徒はスマートフォンを使い、グーグルクラスルームに課題の投稿や Form(アンケート)の活用を行っている。
そういった活動の積み重ねにより、様々な活用方法を蓄積させていきたい。

7 諸連絡